

板橋 まち歩きMAP

北部を丘陵に囲まれたこの地は、古くは大窪（おおくぼ）と呼ばれていました。戦国時代に北条早雲（伊勢宗瑞：1456?-1519年）が小田原に城を築いた際、京から大工、石工、木工などの職人たちを呼び入れ住ませた職人のまちと言われ、古の情緒を今に伝えています。小田原北条時代に整備されたと言われる、公共水道「小田原用水」の上に板の橋がかかっていたことから、この地域は板橋村と呼ばれるようになりました。明治以降になると、知育の温暖な気候を好んだ山縣有朋、大倉喜八郎ら政財界の要人が別荘を構えました。また、多くの童謡を作った詩人・歌人の北原白秋ゆかりの地でもあります。

発行：薬膳喫茶 KURA
デザイン・イラスト：たなかむつみ (atelier.plu.m.)
発行日：2026年4月27日
(地図掲載の情報は発行当時のものです)

KURA 旧朝倉邸

定休日：火曜日・水曜日
営業時間：午前9時～午後5時
ランチ 午前10時30分～売り切れまで
薬膳喫茶KURAの建物は、昭和7年（1932年）ごろ、左官屋の棟梁が自宅として建てたそう。2階にバルコニーが設けられ、内装には玄関や天井など各所に洋風の意匠が施されています。空き家となり、取り壊しも検討されていましたが、趣をそのままに板橋地区の回遊性を高める拠点として生まれ変わりました。

1 松永記念館

開館時間：午前9時～午後5時
※午後4時30分入館締切
休館日：年末年始（12月28日～1月3日）
※臨時休館あり
入館料：無料
※特別展は観覧料が必要な場合があります

“電力王”と称され電気事業で成功する傍ら、茶道にも造詣の深かった松永安左衛門（耳庵：1875～1971）晩年の邸宅“老櫓荘”が見学できます。松永記念館は、松永翁が収集した古美術品を公開するため、1959年自宅敷地内に建築した施設で、現在は松永翁ゆかりの品や郷土文化館所蔵の美術品などを展示しています。国登録有形文化財の“老櫓荘”、茶室“葉雨庵”、田舎家“無住庵”などの歴史的建造物のほか、日本の歴史公園100選にも選ばれた庭園では四季折々の草花を観賞できます。

2 秋葉山 量覚院

京都聖護院を総本山とする、修験道（山伏）の末寺。小田原北条氏滅亡後、徳川家康（1543-1616年）が、小田原城主となった大久保忠世（1532-1594年）に命じ、慶長元年（1596年）遠州秋葉山大権現（防火の神）をこの地に移しました。毎年12月6日に行われる火防祭（ひぶせまつり）は、各地から山伏が集まり、無病息災を祈願します。毎年12月6日に行われる火防祭（ひぶせまつり）は、各地から山伏が集まり、無病息災を祈願します。夜には伝統的な儀式火生祓と呼ばれる火の舞や山伏問答、火渡りが行われます。

3 香林寺

文明16年（1484年）大樹乗慶禪師（?-1510没）が開山した古刹。大雄山最乗寺の二代目の方が修行したという石窟を本堂裏に見ることができます。曹洞宗の小田原三山（海蔵寺：早川、総世寺：久野）の一つ。後の開基は、小田原北条氏第二代当主、北条氏綱（1487-1541年）の正室である養珠院（未詳-1527年）とされています。

10 小田原用水

早川から市街地への水を引くための小田原用水は「日本最古」の水道と言われ、今でも板橋では用水の跡をいたるところで見ることができます。小田原合戦の際、豊臣秀吉らが小田原用水の整備された状況を見て、江戸の上水道整備の参考にしたとも伝えられています。

- Nordisk Lys
営業日：木曜日・金曜日・土曜日・日曜日 営業時間：午前11時～午後5時
- TEA FACTORY 如春園
定休日：日曜日・月曜日 ※新茶、2番茶の時期は不定休
営業時間：ランチ 午前11時30分～午後2時 喫茶 午後2時～午後5時
- OTA MOKKO
定休日：水曜日・日曜日・祝日 営業時間：午前11時～午後4時
※所要により留守にすることがございます

9 居神神社

近年、永正17年（1520年）に創建と判明し、北条氏綱によるものと考察されます。北条早雲との戦いに敗れた三浦荒次郎義意が御祭神のひとり、小田原城の裏鬼門を守護しています。境内には小田原市指定文化財、鎌倉時代末期の古碑群や小田原用水の守護神である水神社もあります。

8 三淵邸 甘柑荘

公開日：毎週日曜日のみ
公開時間：午前11時～午後2時
入館料：保全協力金 500円～
初代最高裁判所長官・三淵忠彦の別荘として昭和初期に建てられた近代数寄屋住宅。設計は佐藤秀三。邸が完成するまでの数か月はここから最高裁へ通いました。忠彦の長男・乾太郎と再婚したのが三淵嘉子。劇場版『虎に翼』は2027年公開予定。

7 古稀庵

入園日：日曜日のみ
※悪天候の日は公開を中止することがあります
入園時間：午前10時～午後4時
入園料：100円
明治の元勳、山縣有朋（首相、枢密院議長、陸軍元帥：1838-1922年）が、明治40年（1907年）70歳（古希）に構え、晩年を過ごしました。相模湾と箱根山を借景に築造された庭園は、有朋の所有であった目白椿山荘・京都無隣庵とともに、近代日本庭園の傑作といわれています。

6 皆春荘

公開日：毎週木曜日～日曜日
公開時間：午前10時～午後4時
※休館日が祝休日にあたる場合は開館し、翌平日に開館した日数分を休館とします
※年末年始休館、その他臨時休館があります
入館料：無料
第23代内閣総理大臣、清浦奎吾（1850-1942年）の別邸として建築され、その後、大正3年（1914年）山縣有朋によって、隣接する古稀庵の別庵として編入されました。

5 旧内野醤油店

※現在、改修工事のため非公開
この建物は、1980年まで100年近くに渡り醤油醸造業を営んでいた内野家の店舗兼住宅として明治36年（1903年）に建てられました。当時流行していた土蔵造りの町屋で、和洋折衷な特徴のある意匠が取り入れられた、明治の香り漂う歴史的にも貴重な建造物です。

